

陽気だより

養徳社 検索

ホームページからご覧いただけます

No.29 2009.8.15

第3号(24年7月号)から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年が60年の年です。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。



この当時、女性の間では、ロングスカートが流行していた様子で、本誌にもそうした記事が見られます。

誕生祭を期して華々しく発刊された本誌創刊号は、旬間第二日にして予定部数をほとんど売りつくしてしまつた。「陽気、陽気、皆様方のたのしいお道の娯楽雑誌、陽気が生まれました！」二階のラウドスピーカーから大声でお地場帰りの人波に呼びかけている美声自慢の高田明、川邨晃子、上田嘉俊らのところへ駆けつけた大橋秀治、「オイオイ、これじゃアとても旬間中もたんから、あんまり景気ようやらんでくれよ。少し残しとかなと困るから」とさすがは販売の大將らしい注文をつけている。社屋前の売場で飛ぶように本誌が売れ、ニコニコ笑顔の雑誌を持った人が街中に氾濫している。と見ると、社員二人が、本誌を持っている人を掴まえては、しきりに与論調査をやっている。「アレ、二人とも若い御婦人ばかり掴まえてるぞ。どうもケシカラン」

誌名投票で「陽気」の名付親に当選された方々が、お地場帰りに本社へ寄つて下さるのをはじめとして、本誌に対する全国的な激励の声に、社内一同感激しているところへ、売切れの報が飛ぶ。ワッと一同が歓声をあげれば、「ア、困つた。こんなに反響が大きいと、ますます責任重大だ」と何でも心配の種になる庄野誠一が、連日徹夜の顔をいつそう蒼白にすれば、淡紙色の健康に輝く上田理太郎が、しきりに口をバクバクしたかと思うと感極まつて「シシシシしっかりやろう」とシバシ抱き合う。



いずれも第三号の記事です

御存知ですか？
人は何人、鳥は何羽と数えますが、次のものは何と数えるでしょう？
①旗 ②提灯 ③箆筒 ④菓子箱 ⑤鯨 ⑥和歌 ⑦椅子 ⑧額
⑨箸 ⑩銅像

- ① 泉 ② 桶 ③ 軒 ④ 朝 ⑤ 顔 ⑥ 鶏 ⑦ 身 ⑧ 里 ⑨ 判

教祖御墓地への道

京都の山科に「一燈園」という信仰団体がある。ホームページによれば、現在、二百数十名の同人が生活を共にし、「懺悔報恩の心を持って捧げた働きをすることを念願しています」とある。その一燈園は明治37年、西田天香氏によって創設された。その西田氏が天理を訪れたときの話が、「教祖様は生きています」と題して『陽気』（昭和26年6月号）に載っている。

× × ×
京都において一燈園を営んでいる西田天香氏がある時おちばに来られたことがあった。後刻、教祖の墓地に詣ろうとして通りかかった婦人之道をたずねた。信者であるのを知ったからである。

婦人は、
「あの山です」と答えて忙しそうに往きす

きた。氏は教えられた通りに歩いて行った。すると、しばらくして、氏の後を追いかけて来た者がある。ふりかえると、先ほど忙しげに行つた人である。氏は多少いぶかしく思つて立ち止まっていた。すると息せき切つて引き返した



北大路から抜ける教祖御墓地への道

その人は、何か折るようになって、
「私はさきに方角だけを言

すてお別れしましたが、なぜ案内しないかと神様に叱られましたから、立ち帰りました」
といった。

氏は後日、おちばに参拝せられた時の印象を求められたとき、何よりも先にこのことを語られ、天理教祖は今なお明らかに生きていたことがわかりました、と語った。

× × ×
果たして私ならどうしただろうか？
内心思つても引き返して案内したのだろうか？……

× × ×
と同時に、婦人との一事の中に、信仰者の心に流れる親心、教祖の御教えが生きている様を感じ取られ、感慨をもつてお墓地に参られたであろう氏の姿を想像した。
日常をあたやおろそかにしているのは、とてもこの婦人のような行動はとれないと、身の引きしまる思いがする。

「陽気」創刊60年記念出版
秋季大祭発刊

人生終なし

柏木庫治を語る

3人の子息によるてい談
「陽気」掲載記事
柏木庫治小伝

「陽気」編集部編
頁数・価格未定

図書出版 養徳社
天理市川原城町388
☎(0743)62-4503
http://yotokusha.com

月刊雑誌 お道の人 創刊60年

陽気

『創刊60年定期購読特別割引』
通常 1年分 2,840円 → **2,400円**
(税込・送料込)
※特別割引は平成21年12月末日お申込分までとなります

お申込は 今すぐ!
〒632-0016 天理市川原城町388
TEL0743-62-4503 FAX0743-63-8077
養徳社 陽気定期購読係まで

「陽気」創刊60年記念出版

道の八十年

—松村吉太郎自伝—
天理教の歴史とともに
生き抜いた信仰軌跡

松村吉太郎 著 定価=1,680円(税込)
(高安大教会初代会長) 送料200円

「陽気」創刊60年記念出版

お道の人のおとておきの話

お道の人のお美しい心象風景 52話
朝席・夕席に最適です
定価=1,260円(税込) 送料200円

養徳社 よもやま話

〇……本誌創刊六十年をきつかけに、創刊当時の息吹を少しでもお伝えしようと発刊したこの「陽気だより」も早や今号で二十九号を数え、本社の広報の役割も果たすようになってきた。多くの人にも知られるようになってきた。バックナンバーを希望される方も多くなってきた。どうかこの「陽気だより」についてのご意見ご感想もお寄せください。〇……今年もこどもおちばがえりひのきしんは、夕方から詰所で模擬店の手伝い。スタッフは6時までに模擬店で夕食を頂く。お好み焼き、たこ焼き、イカ焼き、フライドポテト、クレープ、ベビーカーステラ。10日間の内6日、このメニュー。メリケン粉は暫くはいらない。贅沢かな？お米が食べたい！来年は、炊本にして下さい。お願いします。

広告を載せませんか

ようぼくの企業や会社の広告を『陽気』誌へ載せてみませんか？ 料金は、記事中で一回二万円から。
詳しくは養徳社広告係まで
☎0743・62・4503

この「陽気だより」を各支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用ください。ますよう、お願い申し上げます。
養徳社